

渡辺 憲彦さん(20期生)

入学を決めたきっかけ・理由

VUCAの時代と言われるが、我が国を取り巻く安全保障環境もまた不確実性が増し、自衛隊としてもこれまでの陸海空という領域に加え、宇宙・サイバーといった新たな領域においても防衛力を整備することが求められている。まさに、既存事業の深化と新規事業の探索を両立

する「両利きの経営」が必要とされている状況です。

防衛力整備に直接携わる者として、既存の考え方を打破し、周囲を納得させるだけの論理的かつ具体的な提言をするためには、常に競争が行われているビジネスの世界で活用されている企業経営に関する理論が有効であると考えたのが、RBS入学を決めた動機です。



萬行 扶美さん(20期生)

入学を決めたきっかけ・理由

「現状維持は衰退」と言われます。私は長年働き方変革とオフィス戦略に取り組んできましたが、様々な変化が起こる中で考え方をアップデートしたいと思い、RBSに入学しました。

先日、国立近代美術館で開催中の隈

研吾展を見てきました。隈研吾さんは日本の伝統的文化である風景を切り取るという建築手法を用い、街と山、日常と神社などその前後にある異質なものを繋げることで社会の課題解決を試みています。

私も独自の切り取る視点を見つけ、新たな世界観をつくりたいと思っています。そして是非、多くの皆さんと友達になりたいです。



RBS 在学生インタビュー

RBSへの入学したきっかけを在学生に聞きました。皆さんの入学の目的はなんですか？

孫 利勲さん(20期生)

入学を決めたきっかけ・理由

企業経営に必要な知識・理論を身につけ、卸売市場の仲卸業者が直面する課題と解決策を明確にしたい。私は中国の大学で日本語を学んだ後、1年の交換留学を経て日本の大学に編入し、マーケティングと会計学を履修した。卒業後は情報システム会社に就職し、卸売市場の仲卸を対象にした、基幹情報システムの提案営業に3年半従事してきた。仲卸は、営業拡大や組織づくり、人材育成な

どの課題が山積し、さらに卸売市場制度の改正でますます厳しい状況に置かれている。抜本的な経営強化につながる新機能やサービスを提案するには、経営知識や変化する経営環境に対応できる思考力が欠かせない。RBSでは、カリキュラムが豊富で、「3層モジュール」から多様な専門知識を取得でき、今までの実務経験が体系化できる。特に修了研究モジュールの中で、考案したビジネスプランを外部審査員にプレゼンテーションし、その革新性や実現可能性について評価を受けることができることに魅力を感じる。



有待 亮佑さん(20期生)

入学を決めたきっかけ・理由

私は新卒と大学院の両立を選択しました。理由は2つあります。

①AI時代に対する危機感です。近年、テクノロジーの急激な進歩により誰しもが予測のつかない未来に危機感を持ちました。そこで、大学時代専門的に学んでいたリーダーシップ論をRBSで研究しIT

企業に勤めテクノロジー活用知識を学ぶことが、今後のキャリアにおいて選択肢の幅が広がると考えました。

②夢を叶えるためです。私の夢は「世界で活躍するカッコいいお金持ちになる」ことです。そのためには、20代で多種多様な人の価値観に触れどのような経験をするかが重要と考えます。将来の可能性を狭めたくなく、ゼネラリストを輩出するRBSを志望しました。

